

はじめに

毎日の暮らしの中で、お互いを気遣い、絆を感じながら 住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けることは、誰もが望むことです。

本市でも、市民の4人に1人が65歳以上の高齢者という時代となりましたが、高齢者の方が、この住み慣れた横須賀のまちで、いつまでもその人らしく生きがいを持って暮らせるようにするためには「介護」、「医療」、「予防」、「住まい」、「生活支援」を一体的に提供していく「地域包括ケア」を構築することが必要です。

このたび、このような取り組みを推進するため、平成24年度から平成26年度までの3年間を計画期間とする「よこすか高齢者保健福祉計画（第5期介護保険事業計画を含む）」を策定しました。

高齢者一人ひとりが、その人らしくはつらつと暮しながら、絆を感じる「いのちを大切にすまち」の実現に向け、この計画の推進に努めてまいります。

計画の策定にあたり、貴重なご意見をいただきました横須賀市社会福祉審議会の委員の皆さまをはじめ、多くの市民の皆さまに心からお礼を申し上げます。

平成24年（2012年）2月

横須賀市長 吉田 雄 人